

特集

# 性の多様性と人権 1

～性の多様性、LGBTQ+って何?～

性別は男性か女性の2つのみであり、多くの場合、男性であるか女性であるかは、外見やしぐさ、名前でわかるもの。そして、人は必ず誰かに恋愛感情や性的関心を抱き、男性は女性を、女性は男性を好きになるもの。

長い間、それが「普通」で「自然」で「当たり前」のように思われてきました。それゆえ、私たちの社会の様々なことやものは、「性別は男女の2つのみ」かつ「異性愛」を前提につくられてきました。

しかし、性のあり方は多様であるという認識や理解が進み、私たちの社会も少しずつ変わってきています。今回の特集では、性の多様性と人権について考えてみましょう。

次号（第44号）の特集は、「性の多様性と人権2 ～アライになろう!～」の予定です

とり助

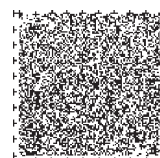


ふらっちょー

鳥取県人権文化センター  
人権啓発キャラクター

## Uni-Voice

文字情報を音声で読み上げるための「音声コード」です。スマートフォンをお持ちの方は音声コードリーダーアプリ「Uni-Voice」（iOS / Android 版）、又は「Uni-Voice Blind」（iOS 版のみ）をインストールしてご利用ください。



## 01

### セクシュアリティ

その人自身の「性のあり方」や「性のありよう」をセクシュアリティといいます。  
セクシュアリティは次の4つで考えることができます。

#### 出生時に割り当てられた性別

生まれた子どもは、外性器を主な基準として、医師等から「男の子」か「女の子」か、性別を割り当てられます。その性別は出生証明書や出生届に記載され、戸籍や住民票等に反映されます。

女の子  
ですよ

男の子  
ですよ



#### 性自認

自分が、自分の性別をどう認識しているか。出生時に割り当てられ、法律で決定された性別と一致する人もいれば、一致しない人、自分を男性とも女性とも思わない人、決めたくないという人等、様々な人がいます。

#### 性的指向

自分の恋愛や性愛の感情が、どの性別に向くか、向かないか。異性を好きになる人もいれば、同性を好きになる人もいます。誰に対しても恋愛感情や性的感情を抱かないという人もいます。

#### 性表現

自分の性別をどう表現するか（服装、言葉遣い、振る舞い等）。その国の文化や慣習、メディアや周囲の人の影響等、無意識のうちに身につけた「男らしさ」や「女らしさ」を基に、自分の性別を表現している人が多いかもしれません。

ぼく



わたし

## 02

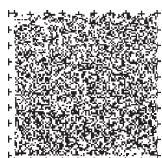
### SOGIE (ソジー)

**S**exual **O**rientation  
(性的指向)

**G**ender **I**dentity  
(性自認)

**G**ender **E**xpression  
(性表現)

SOGIEとは、性的指向 (Sexual Orientation)、性自認 (Gender Identity)、性表現 (Gender Expression) の頭文字を組み合わせた言葉です。性的少数者だけでなく、誰もがそれぞれのセクシュアリティやSOGIEがあります。



L

**レズビアン**

自分を女性と自認し、女性を好きになる人。

G

**ゲイ**

自分を男性と自認し、男性を好きになる人。

B

**バイセクシュアル**

女性を好きになることも男性を好きになることもある人。

T

**トランスジェンダー**

出生時に割り当てられた性別と性自認が異なる人。

Q

**クィア、クエスチョニング**

性のあり方が典型的ではない人。あるいは決めていない人。

+

LGBTQに当てはまらない多様な性を「+」で表現します。

**多様な性の例****ノンバイナリー**

性自認・性表現が男性・女性の枠組みにあてはまらない人。

**アロマンティック**

他者に対して恋愛感情を抱かない人。

**アセクシュアル**

他者に対して性的魅力を感じない、性的に惹かれない人。

出生時に割り当てられた性別と性自認が一致しないという感覚を、「**性別違和**」あるいは「**性別不合**」といいます。

例えば、出生時に割り当てられた性別は女性だが性自認は男性の人や、出生時に割り当てられた性別は男性だが自分は男女どちらでもあると感じる人等、トランスジェンダーにも様々な人がいます。

また、出生時に割り当てられた性別と性自認が一致する人を、「**シスジェンダー**」といいます。

約**10%**

LGBTQ+の人の割合は調査機関や調査方法によって異なりますが、約3～8%、中には約10%※というデータもあります。

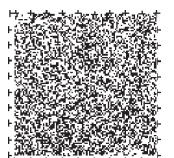
10人に1人という割合は、日本における血液型がAB型の人や、左利きの人の割合と同じくらいになります。

※LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」（約10.0%）

※株式会社電通「LGBTQ+調査2023」（約9.7%）

10人に1人と考えると、地域や職場、学校等、自分の身近なところにもLGBTQ+当事者が「いる」、「すでに出会っている」可能性は高くなります。

しかし、「自分の周りにLGBTQ+の人はいない」「自分は出会ったことがない」と思っている人や、身近なところにLGBTQ+の人々が存在しているなんて「考えたこともない」という人は多いのではないのでしょうか。



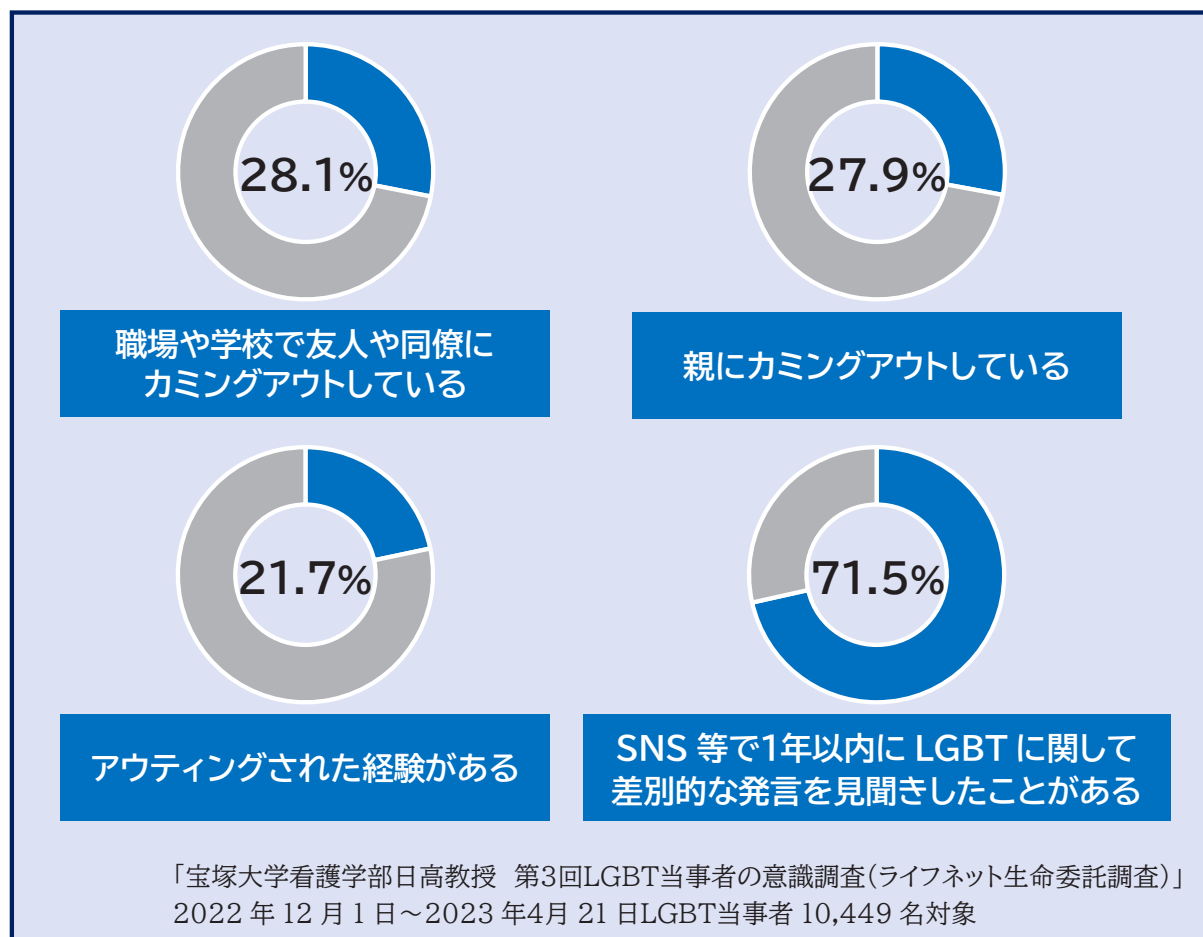
## 「自分の周りにはいない」と思うのはなぜ？

LGBTQ+の人を「自分の周りにはいない」「自分は出会ったことがない」と思うのはなぜでしょうか。2つのキーワードを基に考えてみましょう。

### Keyword 1

### カミングアウト

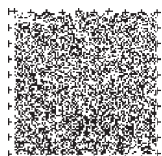
自分の性のあり方について、自ら他の人に伝えること



上の調査では、職場や学校で友人や同僚にカミングアウトしている人や、親にカミングアウトしている人はいずれも約28%。また、21.7%の人が**アウティング**（本人の同意なく第三者がその人の性のあり方を他の人に暴露すること）された経験があると回答しています。さらに、当事者の71.5%がSNS等でこの1年以内にLGBTに関する差別的な発言を見聞きしたことがあると答えており、10代の当事者においては、85.5%にのぼっています。

学校や職場、家庭や地域、さらにはインターネット等、日常生活の様々な場面での「性別は男女の2つのみ」かつ「異性愛」を前提とした会話や慣習、LGBTQ+当事者に対する偏見や侮蔑的な言動、職場での**SOGIハラスメント**（性的指向や性自認に関する嫌がらせ、差別的言動等のハラスメント）等、まだまだ性の多様性やLGBTQ+に関する知識や理解、環境等が十分とは言えない現状があります。

そのため、カミングアウトしているLGBTQ+当事者が少なく、「自分の身近なところでは聞いたことがない」「自分の周りにはいない」等、社会的に「見えにくい」存在とされてしまうのです。



## Keyword 2

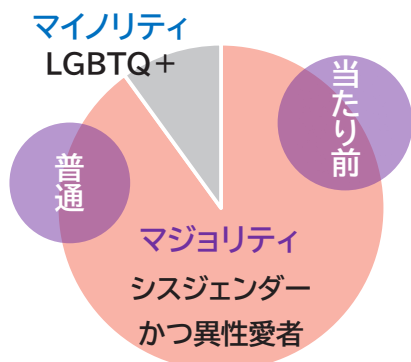
# マジョリティとマイノリティ

### マジョリティ

- ①多数派。
- ②社会において主流を成している支配的グループ。またはそれに属する人々。  
〈例〉（日本における）日本人、健常者、シスジェンダーかつ異性愛者 等

### マイノリティ

- ①少数派。
- ②社会的立場が弱く、差別や不利益を経験しやすいグループ。またはそれに属する人々。  
〈例〉外国にルーツのある人、障がいのある人、同性愛者、トランスジェンダー 等



マジョリティは数が多く主流を成しているため、標準、基本、常識、典型となることが多く、それゆえ正しい、正常という評価や印象を持たれがちです。言い換えると、マジョリティは「普通」や「当たり前」という認識や感覚があります。

私たちの社会は、出生時に割り当てられた性別と性自認が一致している「シスジェンダーかつ異性愛者（ヘテロセクシュアル）」が多数派で主流を占めています。つまり、マジョリティであり、それが「普通」だと思ってしまいがちです。

シスジェンダーやヘテロセクシュアル等、たとえそれが自分のことであっても、「自分の性のあり方に名前がついているなんて知らなかった」「『普通』だと思っていた」という人は多いかもしれません。あるいは、「性のあり方」ということ自体、気にしたことも考えたこともないというシスジェンダー・ヘテロセクシュアルの人もたくさんいるでしょう。マジョリティだからこそ、気にしたり考えたりせざるを得ない場面に直面することがあまりないのです。

### 考えてみよう！



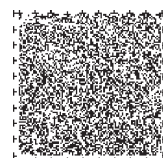
私たちの社会には、「性別は男女の2つのみ」かつ「異性愛」を前提にしてつくられた（分けられた）場所やもの、制度やルール、呼称等がたくさんあります。学校や職場、家庭や地域、その他日常生活の様々な場面で、どのようなものがあるか思い出してみましょう。



私たちの社会はマジョリティに合わせてつくられています。そのため、マジョリティはマイノリティが置かれている状況や、経験しやすい不利益や被害、差別、それによってどのような影響があるのか、気づかなかったり、気にしないであいられたり、マイノリティに原因があるのではないかと思ったりする傾向があります。また、マイノリティの心理的負担や被害を軽く見積もったり、さらには、「自分が知らない＝ない、いない」と思い込んだり、決めつけたりすることもあります。

「シスジェンダーかつ異性愛者」（マジョリティ）のこうした意識や態度は、たとえ本人の正直な感覚だったとしても、悪気がないとしても、実は身近にいるLGBTQ+当事者（マイノリティ）を排除したり、孤立させたりして、深く傷つけていることもあるのです。

誰もが安心安全に生きられる人権尊重社会を築くためには、マジョリティの立場のときの、自分の「普通」や「当たり前」を見つめ直すことが大切なのです。



## ご存じですか？「フェミサイド」

### ●フェミサイドとは

フェミサイドの定義は団体や国によって様々です。例えば国連では「ジェンダーに関連した動機による故意の殺人」と定義され、WHO（世界保健機関）では「女性であることを理由にした意図的な殺人」と定義されています。

最近では5月13日にメキシコで美容系インフルエンサーの女性がライブ配信中に射殺される事件が発生し、この事件は「女性であることを理由にした殺人、フェミサイドの疑いがある」と日本でも報道されました。



### ●背景にある「ミソジニー」

フェミサイドの根底には、女性への憎悪や、女性を男性より劣っている存在と考えたり、人格のある人間とみなさず道具のように扱ったり、男性が所有・コントロールする対象とみなす「ミソジニー（女性憎悪、女性蔑視）」があると言われ、「ミソジニー殺人」とも言われます。

ミソジニーの考えを持つ人や、「男性は常に強くあらねばならない」、「家事や育児は女性がするもの」といったジェンダーバイアスが日常の行動規範として根付いている人が、被害女性の振る舞いや行動を自分の行動規範から外れていると認識したときに、フェミサイドを引き起こす可能性があると言われています。



### ●SNS・インターネットに潜む危険性

特に、最近ではSNS関連でいわゆるインフルエンサーと呼ばれる女性が標的となる事件が立て続けに発生し、インターネットがフェミサイドを助長している側面があります。

SNS上で居場所や予定について具体的な発言をしていなくても、発信される情報をつなぎ合わせて居場所や予定を特定できる場合があるため、インターネット・SNS利用時のリスクや注意点を理解しながら適切に利用する必要があります。



鳥取県は、県民が**情報**を見極める**大切さ**の重要性を「**食**」に例えて、幅広い世代に届けるプロジェクトを推進しています

詳細はこちら→



## 「フェミサイド」について考えるセミナーを開催します

フェミサイドは起こってしまったら取り返しがつかない重大な課題であるにもかかわらず、フェミサイド自体も、それを引き起こす背景も、日本国内ではあまり取り上げられていません。

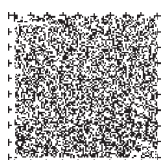
そこで、日本におけるフェミサイドの現状や背景、対策の糸口を考えるセミナーを開催します。この機会に、解決していくべき社会課題として、またご自分や大切な方を守るため、「フェミサイド」のことを学んでみませんか。

### すぐそばにある デジタルによる暴力の実態とこれから(仮)

日時：12月20日(土) 午後1時から午後4時

会場：ヴィレステ日吉津

※詳細は鳥取県男女協働未来創造本部のホームページをご覧ください。



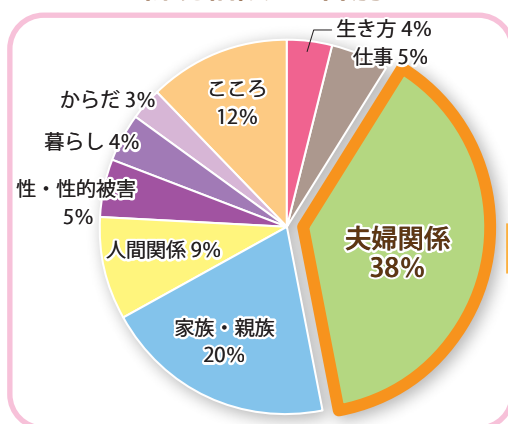
一歩を踏み出すために 一緒に考える場所があります

よりん彩相談室は、だれもがその人らしく生きていくにはどのような選択肢があるのかを一緒に悩み考える場所です。夫婦、パートナーや家族、また地域や職場の中などで「つらいな」「なんでだろう」「いつも我慢しているのは私」そんな気持ちがよぎることはないでしょうか。固定的性別役割分担意識や相手への尊重が欠けた関係になるとどちらか一方がつらさを抱えたり、気持ちを適切に伝えられなくなり互いに傷つけることになったりします。「自分も相手も大切にしたい関係」について知り、考えることは、自分らしい生き方を考え、それぞれの課題への選択肢の幅を広げることにもつながります。

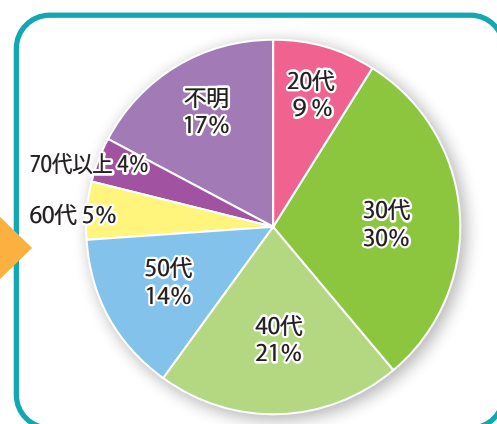
また、個人の日々のモヤモヤの中には社会として考えていく必要がある課題が多くあります。よりん彩相談室は、個人に起きている課題を社会全体で考える課題として捉えていく役割もあります。

令和6年度によりん彩相談室が一般相談としてお受けした件数は1889件で、内訳は、夫婦関係、家族関係、人間関係に関するものが67%を占めています。特に夫婦関係については、女性64%、男性36%となっており、男性からの相談が増えてきています。年代も20代～40代が60%となっており、小さな子どもさんのいる家庭からの相談も多く入っています。

新規相談 内容別



夫婦関係に関する相談 年代別



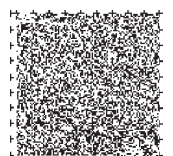
妻が、いつも機嫌が悪くて怒っている。仕事も忙しくて家のこともできない。どうしたらいいかわからない。



夫はいつも指示待ちで、子どものことも言わないとできない。もう言うのも面倒になってきた。子どもを連れて実家に帰ろうと思う。

|           | 相談電話           | 相談日                  | 受付時間                   |
|-----------|----------------|----------------------|------------------------|
| センター相談室   | (0858) 23-3939 | 火曜日から日曜日<br>(土日祝日対応) | 午前9時から午後5時             |
| 東 部 相 談 室 | (0857) 26-7887 | 月曜日から金曜日             | 午前9時から正午<br>午後1時から午後5時 |
| 西 部 相 談 室 | (0859) 33-3955 |                      |                        |
| オトコの相談    | (0858) 23-3955 | 毎週土曜日                | 午後1時30分から<br>午後5時30分   |

6ページ、7ページに関するお問合せは、鳥取県男女協働未来創造本部未来創造課  
【TEL】 0858-23-3976 【FAX】 0858-23-3989





## ふらっと おすすめ DVD



## 労働・企業

## ドラマで学ぶ ビジネスと人権

国家だけでなく、企業も人権尊重の責任を担うべきだという考えが一般的になり、人権問題への対応が企業の評価に大きく関わる時代となりました。本作は、誰もが「ビジネスと人権」について自分ごととして考えることを目的とし、サプライチェーンの人権から人権デュー・ディリジェンスまで、ドラマを交えて分かりやすく解説する教材です。



## パワーハラスメント

シン・職場のハラスメント 分かったつもりが危険!  
第1巻 パワーハラスメント編 ~その言動、なぜパワハラ?~

職場の人間関係やコミュニケーションのあり方と共に形を変えてきた職場のハラスメント。このシリーズは、被害者の心の声を事例に組み込み、「分かったつもり」の間違いへの気づきを促し、ハラスメントの認識を見直すことを目的とした教材です。



## LINE公式アカウント友だち募集中

- 本やDVD、展示やイベントの最新情報をいち早くお届けします
- 資料の貸出予約もできて簡単便利
- ふらっと利用について、チャットでのお問い合わせも可能

ID:@909sxyzqr



【開館時間】 9時～17時  
【休館日】 祝日、年末年始、  
県民ふれあい会館の休館日  
【TEL】 0857-27-2010  
【FAX】 0857-21-1714  
【E-mail】 furatto@tottori-jinken.org



## ● 本・DVDの貸出冊数、期間

|    | 本   |     | DVD |     |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 個人 | 10冊 | 2週間 | 2本  | 2週間 |
| 団体 | 50冊 | 4週間 |     |     |

今後の情報誌作成の参考とさせていただきますため、本誌に関するご意見・ご感想をお寄せください。

とっとり人権情報誌



## ● 駐車場について

県民ふれあい会館駐車場が満車の場合は、日本海新聞本社ビル駐車場をご利用ください。利用時間に応じて駐車場の無料サービス券をお渡しします。必ず駐車券をご提示ください。

## 公益社団法人鳥取県人権文化センター

発行

〒680-0846 鳥取市扇町21 鳥取県立生涯学習センター（ふれあい会館）2階  
【TEL】 0857-21-1712 【人権相談専用TEL】 0857-21-1713  
【FAX】 0857-21-1714 【E-mail】 t-jinken@tottori-jinken.org  
【HP】 <https://tottori-jinken.org>



センター HP

